

第6章 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

1. 歴史的風致維持向上施設の整備・管理の考え方

本計画における歴史的風致維持向上施設とは、本市における歴史的風致の維持向上に寄与する公共施設などであり、これを整備し、適切な管理を行うことにより、本市固有の歴史的風致の維持向上を図るものである。その対象は、歴史的風致を構成し、かつその保全に寄与するもので、本計画の期間内に実施されるものである。

歴史的風致維持向上施設については、歴史的風致の維持向上に資する町なみの景観の保全、歴史的風致を形成する建造物の保存・活用、まちなか周遊機能の向上など、市民や来訪者が本市固有の歴史的風致を感じられる整備を行い、歴史的風致の維持向上を図る。

整備にあたっては、施設や地域の歴史を取り巻く背景をていねいに調査するとともに周辺の景観に配慮し、地域住民、関連団体などと十分に協議、調整した上で実施する。

維持管理については、良好な歴史的風致として施設を維持できるよう、その所有者や地域住民、関係団体と連携して、維持管理に取り組み、必要に応じて指導や助言を行う。

なお、事業の実施に際しては、その効果を見極めながら、国や県の補助金制度を有効に活用し、計画的に取り組んでいくものとする。

上記の基本的な考え方にに基づき、実施する事業は以下のとおりである。

(1) 大館城跡と周辺の町なみの景観保全・形成に関する事業

- ① 桂城公園（大館城本丸跡）修景整備事業
- ② 一般国道7号（長倉地区）電線共同溝整備事業
- ③ 御成町南地区土地区画整理事業（主要地方道大館十和田湖線電線共同溝整備）
- ④ 道路美装化整備事業
- ⑤ 大館城跡周辺の土居・緑地保全事業

(2) 歴史的建造物の保存・活用に関する事業

- ⑥ 重要文化財（大館八幡神社）保存補修事業
- ⑦ 登録有形文化財（桜櫓館）保存補修事業
- ⑧ 大館神明社保存補修事業
- ⑨ 歴史的町並み調査事業

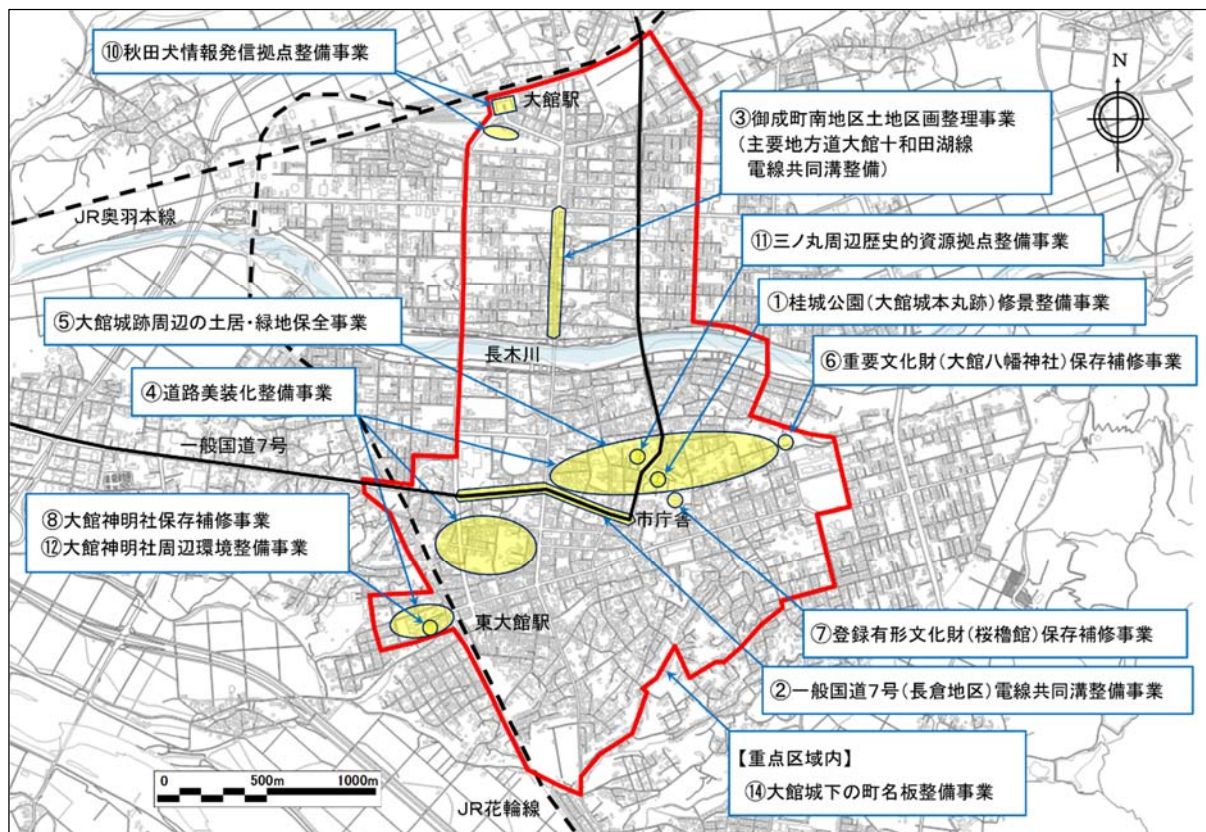
(3) 歴史的風致の認識向上と情報発信に関する事業

- ⑩ 秋田犬情報発信拠点整備事業
- ⑪ 三ノ丸周辺歴史的資源拠点整備事業
- ⑫ 大館神明社周辺環境整備事業
- ⑬ 歴史的資源多言語表示案内板整備事業
- ⑭ 大館城下の町名板整備事業
- ⑮ まち歩きマップ作成事業

- ⑯ 趣のある風景・建造物ガイドブック作成事業
- ⑰ 歴史案内人育成事業
- ⑱ 社会科副読本作成事業

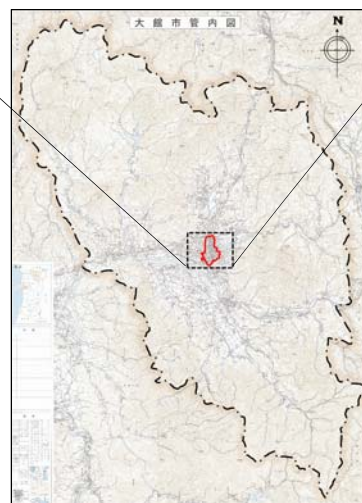
(4) 歴史と伝統を反映した人々の活動の継承に関する事業

- ⑲ 無形民俗文化財・郷土芸能活動調査支援事業
- ⑳ 地域づくり協働推進支援事業
- ㉑ 天然記念物（秋田犬）保存及び育成支援事業
- ㉒ 伝統的工芸品（大館曲げわっぱ）活動支援事業



【大館市全域】

- ⑨ 歴史的町なみ調査事業
- ⑬ 歴史的資源多言語表示案内板整備事業
- ⑮ まち歩きマップ作成事業
- ⑯ 趣のある風景・建造物ガイドブック作成事業
- ⑰ 歴史案内人育成事業
- ⑱ 社会科副読本作成事業
- ⑲ 無形民俗文化財・郷土芸能活動調査支援事業
- ⑳ 地域づくり協働推進支援事業
- ㉑ 天然記念物(秋田犬)保存及び育成支援事業
- ㉒ 伝統的工芸品(大館曲げわっぱ)活動支援事業



重点区域と各事業の位置

2. 歴史的風致維持向上に資する事業

(1) 大館城跡と周辺の町なみの景観保全・形成に関する事業

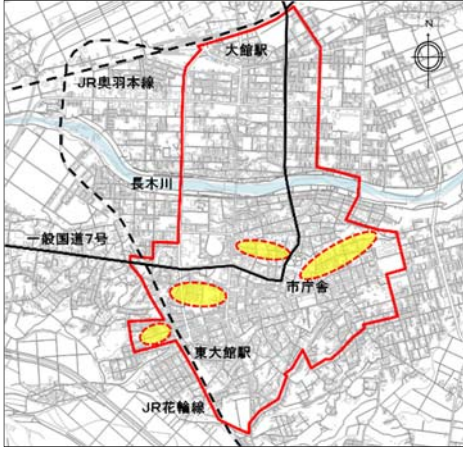
事業名	① 桂城公園（大館城本丸跡）修景整備事業
整備主体	大館市
事業手法 (支援事業名)	市単独事業 平成 23・25 年度（国補助／公園施設安全・安心対策緊急総合支援事業） 平成 27 年度（国補助／公園施設長寿命化対策支援事業）
事業期間	平成 23 年度～平成 38 年度
事業位置	大館市字中城地内 (重点区域内)
事業概要	大館城本丸跡は、堀と土塁の一部が往時の面影を残している。 平成 32 年度に完成予定の新庁舎と調和や景観の一体化を図り、城址公園にふさわしい景観形成を目指す。堀や土塁の修景整備を行うとともに、更なる賑わいの拠点となる公園の整備を行う。  桂城公園の満開の桜  大館城跡の面影が残る堀
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	桂城公園では、毎年桜まつりの時期になると、天然記念物の秋田犬や比内鶏の展示会が開催され、多くの市民や来訪者が集い、賑わいを見せる。 引き続き、桜の土壌改良や巨木「シロヤナギ」の保全を図るとともに、公園全体の修景整備を行うことにより、市民が誇りを持てる城址公園が形成され、より一層大館城跡の理解が深まり、歴史的風致の維持向上に寄与する。



事業名	② 一般国道7号（長倉地区）電線共同溝整備事業
整備主体	国土交通省東北地方整備局能代河川国道事務所
事業手法 （支援事業名）	道路関係／直轄／電線共同溝事業
事業期間	平成27年度～平成33年度
事業位置	大館市字長倉地内 （重点区域内） 
事業概要	一般国道7号は、城下町を通過するとともに、大館神明社例祭時には、御神輿巡行や山車運行の順路となっていることから、町なみの良好な景観や快適な歩行空間を確保するため、無電柱化の整備を行う。   複数の電線の横断状況 大館城本丸跡脇を通過する一般国道7号
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	電柱電線類の地中化により、市民や来訪者は、城下町を練り歩く山車の壮大な競演を、快適な歩行空間で見学することが可能となる。 また歴史的建造物やその周辺市街地において、良好な景観が形成されることにより、歴史的風致の維持向上に寄与する。

事業名	③ 御成町南地区土地区画整理事業 (主要地方道大館十和田湖線電線共同溝整備)
整備主体	大館市
事業手法 (支援事業名)	社会資本整備総合交付金 (道路事業)
事業期間	平成 18 年度～平成 34 年度
事業位置	大館市御成町地内 (重点区域内)
事業概要	主要地方道大館十和田湖線は、大館神明社例祭時には山車合同運行の順路となり、また、伝統行事の会場となっていることから、町なみの良好な景観や快適な歩行空間を確保するため、歩道の整備と一体で無電柱化の整備を行う。  複数の電線の横断状況  未整備の歩道空間
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	電柱電線類の地中化により、市民や来訪者は、例祭などの伝統的な行事を快適な歩行空間で見学することが可能となる。 また歴史的建造物やその周辺市街地において、良好な景観が形成されることにより、歴史的風致の維持向上に寄与する。



事業名	④ 道路美装化整備事業
整備主体	大館市
事業手法 (支援事業名)	市単独事業
事業期間	平成30年度～平成36年度
事業位置	・大館市字上町・八幡町地区 ・大館市字三ノ丸・長倉地区 ・大館市字大館・幸町地区 ・大館市神明地区 (重点区域内)
	
事業概要	大館城下の町割りが残る市街地には、歴史的建造物が点在し、城下町特有の鉤型や袋小路の道路が複雑に入り組んでいる。 城下町を巡るまち歩きする際の、回遊性の向上を図るため、路面舗装の美装化を行う。  城下町の鉤型が残る道路  料亭が建ち並ぶ新開地通り
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	道路の美装化により、歴史的風致の活動と一体となる建造物や周辺の環境と調和した良好な空間が形成される。 市民や来訪者が、まち歩きしたくなる機運を高められるとともに、歴史的な町なみ景観形成の促進が図られ、歴史的風致の維持向上に寄与する。

事業名	⑤ 大館城跡周辺の土居・緑地保全事業
整備主体	大館市
事業手法 (支援事業名)	市単独事業
事業期間	平成 29 年度～平成 38 年度
事業位置	大館市字上町地内 他 (重点区域内)
	
事業概要	北側の市街地から大館城跡を望むと、東の重要文化財の大館八幡神社から西の愛宕神社まで緑の斜面が続き、往時の面影を偲ぶことができる。引き続き、桜などの樹木を適切に管理し、良好な景観の維持を図る。  本丸跡から望む市街地と山なみ  本丸跡から望む緑の回廊
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	大館城跡周辺の土居や緑地の適切な保全により、大館城本丸跡からの良好な眺望が確保でき、遠くの山なみなどの四季折々の風情を感じることが可能となる。また、良好な景観形成が図られ、歴史的風致の維持向上に寄与する。

(2) 歴史的建造物の保存・活用に関する事業

事業名	⑥ 重要文化財（大館八幡神社）保存補修事業
整備主体	大館市・大館八幡神社
事業手法 (支援事業名)	市単独事業
事業期間	平成 29 年度～平成 33 年度
事業位置	大館市字八幡地内 (重点区域内)
事業概要	重要文化財の本殿 2 棟を保護する覆い屋は、老朽化が進んでいることから、建造物の保存補修を行う。 覆い屋の開口部が参拝者の目線より高いことから、本殿を拝観できない構造となっているため、覆い屋の改修整備を行う。あわせて重要文化財への延焼を防ぐ防火対策の整備を行う。  大館八幡神社の外観  重要文化財の防火訓練
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	建造物の保存補修により、建造物の保全が図られる。覆い屋の改修により、参拝者は重要文化財の拝観が可能となるうえ、理解が深まる。 また、建造物群の防火対策の整備により、貴重な資源を後世へ継承することが可能となり、歴史的風致の維持向上に寄与する。



事業名	⑦ 登録有形文化財（桜櫓館）保存補修事業	
整備主体	大館市	
事業手法 （支援事業名）	市単独事業	
事業期間	平成 29 年度～平成 33 年度	
事業位置	大館市字中城地内 （重点区域内）	
事業概要	個人が所有管理している登録有形文化財について、施設の市有化を図り、大事に管理されてきた建造物の保存補修を行う。 また、市庁舎や桂城公園に隣接していることから、市民や来訪者が建造物を見学できる環境整備や多様な利用を促進する。  桜櫓館の外観  櫓（展望台）から望む鳳凰山	
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	登録有形文化財の保存補修により、建造物の保全が図られ、貴重な資源を後世へ継承することが可能となる。 建造物の多様な利用の促進や一般公開により、利用者や見学者の増加につながるるとともに、登録有形文化財への理解が深まり、歴史的風致の維持向上に寄与する。	

事業名	⑧ 大館神明社保存補修事業	
整備主体	大館市・大館神明社	
事業手法 (支援事業名)	市単独事業	
事業期間	平成 29 年度～平成 33 年度	
事業位置	大館市中神明町地内 (重点区域内)	
事業概要	大館神明社は、藩政期から町人町の鎮守社であり、例祭は、本市を代表する祭典として受け継がれている。 例祭が執り行われる本殿を含む建造物群の老朽化が進んでいることから、関係者と協議しながら建造物の文化的価値が失われないように保存補修に取り組む。  大館神明社の外観  御神輿が格納されている建造物	
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	建造物の保存補修により、建造物の保全が図られ、貴重な資源を後世へ継承することが可能となる。 補修後の建造物の一般公開により、参拝者や見学者の増加につながり、歴史的建造物や例祭の理解が深まり、歴史的風致の維持向上に寄与する。	

事業名	⑨ 歴史的町なみ調査事業
整備主体	大館市
事業手法 (支援事業名)	市単独事業
事業期間	平成 30 年度～平成 33 年度
事業位置	大館市全域
事業概要	城下町を中心とする市街地には、度重なる大火を免れた歴史的建造物が残っているが、これまで十分な調査が行われず、詳細な内容が把握されていない。 歴史上価値の高い建造物を後世に引き継ぐため、所在調査や建築様式等の詳細調査を行う。  歴史的な佇まいを残す料亭  城下町にある近代和風住宅
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	歴史的建造物の実態調査は、歴史的風致形成建造物への指定の推進が図られるうえ、建造物の今後の保存補修事業の基礎資料となる。 また、調査内容を公表し、情報発信することにより、歴史的建造物の認識の向上が図られ、歴史的風致の維持向上に寄与する。

(3) 歴史的風致の認識向上と情報発信に関する事業

事業名	⑩ 秋田犬情報発信拠点整備事業
整備主体	大館市
事業手法 (支援事業名)	市単独事業
事業期間	平成28年度～平成31年度
事業位置	大館市御成町地内 (重点区域内)
事業概要	市の玄関口である大館駅の駅前広場にある忠犬ハチ公銅像と秋田犬群像は、市民に親しまれ、来訪者を迎えている。毎年4月にハチ公の慰霊祭、10月に生誕祭が開催され、市民の活動が現在も続いている。 交流拠点施設「ハチ公の駅（仮称）」の整備を行い、天然記念物（秋田犬）の歴史や文化を情報発信する。  事業計画図  整備イメージ図
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	大館駅前の「ハチ公の駅（仮称）」は周遊の拠点となり、地域資源を巡るまち歩きの推進が図られ、継続的な賑わいの創出が可能となる。 秋田犬を紹介するスペースやふれあい広場の併設により、市民や来訪者は、秋田犬に身近に接することができ、天然記念物（秋田犬）の認識向上が図られることで、秋田犬の保存にもつながり、歴史的風致の維持向上に寄与する。

事業名	⑪ 三ノ丸周辺歴史的資源拠点整備事業
整備主体	大館市
事業手法 (支援事業名)	市単独事業
事業期間	平成 35 年度～平成 36 年度
事業位置	大館市字三ノ丸地内 (重点区域内)
事業概要	大館城跡の三ノ丸周辺には、秋田犬の歴史を知ることができる秋田犬会館、本丸跡を眺める秋田犬銅像や狩野亨吉の生家跡の庭園があり、多くの市民や観光客が訪れる。 しかし、愛宕神社などの歴史的資源へのまち歩きの出点となる駐車場が近隣に少ないため、駐車場を兼ねた多目的広場の整備を行う。  秋田犬会館と秋田犬銅像  愛宕神社
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	秋田犬会館の隣接地に駐車場を整備することにより、来訪者の利便性の向上が図られる。 多目的広場は、イベント開催時に本市の歴史や文化に関する情報を発信する場となり、歴史的風致の維持向上に寄与する。



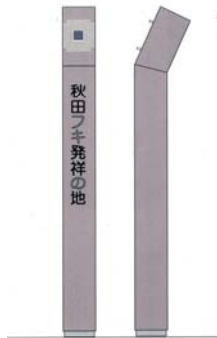
秋田犬会館と秋田犬銅像



愛宕神社

事業名	⑫ 大館神明社周辺環境整備事業
整備主体	大館市・大館神明社
事業手法 (支援事業名)	市単独事業
事業期間	平成32年度～平成33年度
事業位置	大館市中神明町地内 (重点区域内)
	
事業概要	大館神明社の例祭では、各講の大きな山車が曳き手とともに、境内に大勢訪れることから、山車や関係者の待機場所とするために、駐車場を兼ねた広場を整備する。 また、境内には石碑や記念碑などの歴史的資産が多数存在しており、散策路を設け、周遊できる小公園の整備を行う。  大館神明社に参拝する各講の山車  境内に集結する各講の山車
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	大館神明社の境内に駐車場を兼ねた広場の整備により、参拝時の山車の運行などにおける環境が向上する。 また、小公園の整備により、市民や来訪者が、歴史的資産にふれる環境が整い、認識の向上が図られるため、歴史的風致の維持向上に寄与する。

事業名	⑬ 歴史的資源多言語表示案内板整備事業
整備主体	大館市
事業手法 (支援事業名)	市単独事業 平成 28 年度～ (国補助／地域創生推進交付金)
事業期間	平成 27 年度～平成 32 年度
事業位置	大館市全域
事業概要	地域に点在する歴史的資源への案内が不十分であり、また歴史的資源の管理者が不在の場合、市民や来訪者への対応が困難となっている。 外国人観光客を含めた来訪者への対応として、多言語表示及びQRコード付の案内板の整備を行う。  周辺の景観に調和した案内板  多言語表示QRコード付説明
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	市内に点在する歴史的資源までのルート上に、統一されたデザインの案内板や案内標識の設置により、来訪者の周遊性の向上につながる。 現地に歴史的資源を説明した案内板を設置することにより、市民や来訪者は、歴史や文化の情報を得ることが可能となり、歴史的風致の維持向上に寄与する。

事業名	⑭ 大館城下の町名板整備事業
整備主体	大館市
事業手法 (支援事業名)	市単独事業
事業期間	平成31年度～平成34年度
事業位置	大館市城下町範囲 (重点区域内)
事業概要	大館城下の名残がある町名は現在も数多くあるが、大館城の位置や規模のほか、町名の由来があまり認識されていないため、QRコード付の町名板の整備を行う。 まち歩きのリ遊性の向上を図るため、形状や意匠を統一化する。  城下町を巡るまち歩き  形状や意匠を統一する町名板
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	町名板の設置により、市民や来訪者は、モバイル端末より城下町の情報を得ながらのまち歩きが可能となる。 また、地区住民は城下町の歴史・文化にふれあうことにより、地域への愛着が深まり、歴史的風致の維持向上に寄与する。

事業名	⑮ まち歩きマップ作成事業
整備主体	大館市
事業手法 (支援事業名)	市単独事業
事業期間	平成30年度～平成33年度
事業位置	大館市全域
事業概要	市民や来訪者向けの城下町にある文化財や歴史的建造物を巡るまち歩きマップを作成する。 マップには、まち歩きルートや所用時間のほか、城下町の魅力を掲載し、見て楽しめる内容とする。  親子歴まち散歩で、文化財の説明に興味津々の参加者  歴史的建造物を巡るまち歩きマップの作成
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	まち歩きマップの作成により、市民や来訪者へルートなどの情報を提供することが可能となり、まち歩きの回遊性が向上する。 また、歴史的建造物、歴史や文化の情報を得ることで、城下町の認識が向上し、歴史的風致の維持向上に寄与する。

事業名	⑩ 趣のある風景・建造物ガイドブック作成事業
整備主体	大館市
事業手法 (支援事業名)	市単独事業
事業期間	平成 30 年度～平成 33 年度
事業位置	大館市全域
事業概要	市中心部にある城下町から離れた地域には、本市が誇るべき趣のある田園や山並みの風景、建造物などが数多く存在する。 またその地域における歴史や文化もあることから、市民と一体となり、地域の魅力を発信できるガイドブックを作成する。  天然秋田スギと歴史の道 「矢立峠風景林」  松峰神社に続く参道
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	ガイドブックの作成により、市民や来訪者へ地域資源などの情報を提供することが可能となり、来訪者の増加につながるとともに、地域の活性化が図られる。 また、周辺における良好な景観を維持する機運の高まりや、地域資源の歴史や文化への認識が向上し、歴史的風致の維持向上に寄与する。

事業名	⑰ 歴史案内人育成事業
整備主体	大館市
事業手法 (支援事業名)	市単独事業
事業期間	平成 29 年度～平成 38 年度
事業位置	大館市全域
事業概要	市民や来訪者向けに、地域に残る歴史的資源や歴史・文化について語ることができる案内人を育成するため、講習会や現地視察等の研修を実施する。  旧羽州街道を説明する案内人 (矢立峠散策会)  地区座談会による意見交換
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	歴史案内人の分かりやすい説明により、市民や来訪者は、本市の歴史や文化をより一層理解することができる。 地区住民による地域資源の魅力の発信は、伝統行事の継承や担い手の育成につながり、歴史的風致の維持向上に寄与する。

事業名	⑱ 社会科副読本作成事業
整備主体	大館市
事業手法 (支援事業名)	市単独事業
事業期間	昭和 43 年度～平成 38 年度 小学生用（昭和 43 年度初版発行～平成 28 年 4 月 14 改訂版） 中学生用（昭和 56 年度初版発行～平成 24 年 4 月 9 改訂版）
事業位置	大館市全域
事業概要	未来の大館市民を育成する「ふるさとキャリア教育」の一環で、小中学校の児童生徒に本市の歴史や暮らしに関する知識を得てもらい、理解を深める事ができる分かりやすい教材を作成する。  小学生用副読本 (平成 28 年 4 月 14 改訂版)  ふるさとキャリア教育の活動 (釈迦内サンフラワープロジェクト)
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	社会科副読本の作成により、小中学校の児童生徒は、地域での活動や取り組みを学ぶことが可能となる。 生まれ育った地域に誇りを持つことで、伝統行事などの活動への参加が図られ、歴史的風致の維持向上に寄与する。

（４）歴史と伝統を反映した人々の活動の継承に関する事業

事業名	⑱ 無形民俗文化財・郷土芸能活動調査支援事業
整備主体	大館市・無形民俗文化財保護団体・郷土芸能保存会
事業手法 (支援事業名)	市単独事業
事業期間	昭和 59 年度～平成 38 年度
事業位置	大館市全域
事業概要	市内には、詳細な調査や研究がなされていない郷土芸能が数多く残っている。 無形民俗文化財の保護活動を継続している団体や郷土芸能保存会と課題を共有し、活動を継続するために必要な支援を行う。  大館囃子の合同練習会  伝統芸能の正確な継承が必要
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	無形民俗文化財や郷土芸能は、少子高齢化や後継者不足により活動の継承が危ぶまれていることから、学術的な観点から調査し記録保存することで、後世へ正確に継承することが可能となる。 活動を継続するために必要な支援により、担い手を育成できる環境が整備され、歴史的風致の維持向上に寄与する。

事業名	②⑩ 地域づくり協働推進支援事業（愛称「地域応援プラン」）
整備主体	大館市・大館市地域づくり協働推進会議
事業手法 （支援事業名）	市単独事業
事業期間	平成 22 年度～平成 32 年度
事業位置	大館市全域
事業概要	地域住民の「地域をもっと良くしよう」「住みやすい地域にしよう」という熱意をもって、まちづくりや地域活性化に取り組む活動に対して、支援を行う。  地域における良好な景観づくり  地域資源の魅力を語り継ぐ
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	市民が主体となって、地域の良好な景観を維持する活動や、地域資源の魅力を高める活動を支援することは、地域活性化への機運の高まりを継続できる。 また、地域固有の伝統行事への参加が図られるとともに、守られてきた祭礼等を次世代へ継承することが可能となり、歴史的風致の維持向上に寄与する。

事業名	㊴ 天然記念物（秋田犬）保存及び育成支援事業
整備主体	大館市・秋田犬保存会
事業手法 （支援事業名）	市単独事業
事業期間	昭和 54 年度～平成 38 年度
事業位置	大館市全域
事業概要	天然記念物（秋田犬）は、秋田犬保存会により保護、繁殖及び普及されている。大館城本丸跡の桂城公園で開催している全国規模の本部展覧会には、市民や全国から愛犬家が訪れる。 近年、登録されている秋田犬の減少や保存会の会員数の減少が課題となっていることから、その解決に向け取り組みを行う。    人気の秋田犬とのふれあい 秋田犬の歴史が分かる博物館
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	年間を通じて秋田犬とのふれあいや交流の機会を増やし、またイベント開催時の P R を充実させることにより、さらに市民や来訪者の増加が図られる。 秋田犬保存会と連携を図り、課題の解決に向け取り組むことは、秋田犬の保存につながり、歴史的風致の維持向上に寄与する。

事業名	② 伝統的工芸品（大館曲げわっぱ）活動支援事業
整備主体	大館市・大館曲げわっぱ協同組合
事業手法 （支援事業名）	市単独事業
事業期間	平成 21 年度～平成 38 年度
事業位置	大館市全域
事業概要	伝統的工芸品の大館曲げわっぱの製造における基本的な技術は、伝統工芸士が現在に受け継いでいる。大館曲げわっぱ協同組合と連携を図り、曲げわっぱの製作体験ができる工房の運営や、伝統工芸の継承活動、商品の販路拡大の支援を行う。 また、原材料の天然秋田スギが供給終了されることを受け、代替となる原材料の安定的な供給が課題であるため、適材木の研究を推進する。  伝統的工芸品の大館曲げわっぱ  伝統工芸士の指導による製作体験
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	手づくり体験できる工房は、市民や来訪者に大変人気があり、曲げわっぱ製品の魅力の発信につながっている。 伝統的工芸品の販路拡大やPR、原材料の代替となる人工杉の活用に向けた取り組みは、将来の伝統工芸士の確保につながり、歴史的風致の維持向上に寄与する。